

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																		
精神看護学特論Ⅱ(精神看護理論)	1	前期	2	講義 30時間																		
担当教員	田中美恵子																					
授業概要	精神分析理論、精神病理学理論、対象関係論等、精神看護学を構成する基礎的理論を学び、対象をメタサイコロジカルな観点および病理学的な観点からアセスメントし、介入するための理論的基盤を養う。																					
到達目標	1. 精神分析の基礎理論について学び、重要概念を理解する。 2. 対象関係論について学び、重要概念を理解する。 3. 力動的精神医学について学び、DSM と精神分析概念を併用したアセスメント・介入技術のための理論的基盤を養う。																					
履修条件	特になし																					
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>精神分析理論：局在論について文献を通して理解する。</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>精神分析理論：構造論について文献を通して理解する。</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>精神分析理論：精神性的発達について文献を通して理解する。</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>精神分析理論：防衛機制について文献と自らの体験に照らし理解する。</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>対象関係論：対象関係論の主要理論について文献を通して理解する。</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>力動精神医学：理論編として、基本原則(無意識。心的決定論・転移・逆転移・抵抗等)、について文献を通して理解する。</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>力動精神医学：臨床編として、統合失調症、気分障害、不安障害、物質関連障害、摂食障害等への力動精神医学的アプローチについて文献を通して理解する。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>事例検討：文献を通して、事例を取り上げ、精神分析的治療アプローチの実際について理解する。</td> </tr> </tbody> </table>				回	内容	1-2	精神分析理論：局在論について文献を通して理解する。	3-4	精神分析理論：構造論について文献を通して理解する。	5-6	精神分析理論：精神性的発達について文献を通して理解する。	7-8	精神分析理論：防衛機制について文献と自らの体験に照らし理解する。	9-10	対象関係論：対象関係論の主要理論について文献を通して理解する。	11-12	力動精神医学：理論編として、基本原則(無意識。心的決定論・転移・逆転移・抵抗等)、について文献を通して理解する。	13-14	力動精神医学：臨床編として、統合失調症、気分障害、不安障害、物質関連障害、摂食障害等への力動精神医学的アプローチについて文献を通して理解する。	15	事例検討：文献を通して、事例を取り上げ、精神分析的治療アプローチの実際について理解する。
回	内容																					
1-2	精神分析理論：局在論について文献を通して理解する。																					
3-4	精神分析理論：構造論について文献を通して理解する。																					
5-6	精神分析理論：精神性的発達について文献を通して理解する。																					
7-8	精神分析理論：防衛機制について文献と自らの体験に照らし理解する。																					
9-10	対象関係論：対象関係論の主要理論について文献を通して理解する。																					
11-12	力動精神医学：理論編として、基本原則(無意識。心的決定論・転移・逆転移・抵抗等)、について文献を通して理解する。																					
13-14	力動精神医学：臨床編として、統合失調症、気分障害、不安障害、物質関連障害、摂食障害等への力動精神医学的アプローチについて文献を通して理解する。																					
15	事例検討：文献を通して、事例を取り上げ、精神分析的治療アプローチの実際について理解する。																					
教科書	土居健郎：精神分析と精神病理、第2版、医学書院、1970 G.O.ギャバード：精神力動的精神医学①理論編、岩崎学術出版、1998																					
参考書	G.O.ギャバード：精神力動的精神医学②臨床編：Ⅰ軸障害、岩崎学術出版、1998 G.O.ギャバード：精神力動的精神医学③臨床編：Ⅱ軸障害、岩崎学術出版、1998 小此木啓吾他編：精神分析セミナーⅠ～Ⅴ、岩崎学術出版、1981～1988 小此木啓吾：精神分析の成り立ちと発展、弘文堂、1985 小此木啓吾：精神分析の基礎理論、弘文堂、1985 前田重治：凶説 臨床精神分析学 誠信書房、1985																					
評価方法・基準	プレゼンテーション準備度20%、講義および討議への参加度10%、レポート70%とし、総合的に評価する。																					
事前・事後学習	事前に示す資料を読んでくること。事後には、疑問点を整理し、さらに関連文献を読み、理解を深める。																					
備考	特になし																					